



一本道

相良中学校通信 No.21

令和4年9月29日

校長 吉田憲一

1 「朝の読書」の基盤。本を選ぶ時間の設定。

9月21日、図書館で図書司書の鶴口先生と話をしていました。すると「次の時間、1年2組が本を借りに来ますよ。」とのこと。待っていると、国語の授業の前の休み時間に、1年2組の生徒全員が2冊の本をもって図書館へやってきました。すると慣れたものです。2冊の本を返却し、本を選び、新たな2冊の本を借りました。



相良中学校は、本を借りるシステムがきちんと整っているのです。これが、昨年度一人平均72冊という驚異的な読書貸出冊数を生み出した基盤となっていることを再確認しました。本を選ぶ時間と本を読む時間があれば、人は本を読みます。そして、本の世界に入り、知識を高めたり、心を豊かにしたりします。相良中学校は、読書できる環境が整っています。これは、日本全国の中学校の中でもトップクラスだと自負しています。継続していきたい相良中学校の特色ある取組です。

2 給食委員会の取組。給食標語(3部門)の表彰!

9月22日、生徒集会が行われました。その中で、給食委員会による給食標語の表彰が行われました。テーマが「だし」「ビタミン」「かむ」の3部門あり、各部門で4名の優秀賞が紹介されました。また、各部門

の最優秀賞に、賞状が授与されました。3名の最優秀賞の標語を紹介します。

- ◎だし部門「だしをとる うま味たっぷり 味が出る」2年 樋口ゆおん君
 - ◎ビタミン部門「ビタミンは 健康を維持 大事だよ」2年 吉田ともはる君
 - ◎かむ部門「よくかんで 歯の健康をいつまでも」1年 岩川 ふみなさん
- 「食が体を作る」と言います。まさに食育です。



3 生徒の挨拶が、地域に元気を届けています

9月22日、生徒集会で、学校評価の結果について話しました。4つの身に付けた力の中で、一番高かったのは「元気力」でした。「挨拶は元気度を測るバロメーターであること」「背中への挨拶、遠くからの挨拶、元気な挨拶が確実に増えていること」を伝えた後、保護者や地域の方からの次の3つの声を紹介しました。生徒の挨拶が、地域に元気を届けています。

地1 朝、交通指導で校門前に立っている時、登校する中学生が挨拶をして、通学する姿を嬉しく思います。

地2 向こうを向いて畑仕事をしている私に、よく挨拶してくれるのです。今年からです。「背中に挨拶」いいですね。

地3 相良中生は、この頃、本当によく挨拶をします。本当に気持ちがいいです。18年間あいさつ運動を続けていますが、あいさつ運動をしてよかったなあと思います。



相良中 HP へ